

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働により、「おいしさ・健康・美」の追求をコアコンセプトに、人々の幸せを実現するとともに社会・経済の発展に貢献し続けていきます。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の好循環および持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、「厚みと広がりのある強固な人材・組織基盤の構築」と「イノベーションを生み出すエネルギーな組織風土の醸成」に向けて、人事制度改革や処遇制度改革による企業変革に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2022年8月4日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/15175-05-01-tokyo.pdf>

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

当社は、「すべての人の健康」「おいしさ、美のある豊かな生活」「地球環境」「食のバリューチェーンへの貢献」「信頼でつながるサプライチェーン」「人材マネジメント」という6つの重点領域における課題解決を通じた社会との共有価値の創造（CSV）を成長ドライバーとし、企業価値を追求するとともに、人々・社会・経済の発展に貢献します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和 5年 5月 10日

日清オイリオグループ株式会社
法人名

代表取締役社長 久野 貴久
役職・氏名（代表権を有する者）